|  |
| --- |
| **ふゆと ともだち** |

内容解説資料

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 配当時数 | 10時間 | 配当時期 | 1年1-2月 | 教科書ページ | 上巻p88-97 |
| 特に中心となる内容 | (5)季節の変化と生活 | | | | |
| 単元の目標 | 冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見つけることができ、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わることに気付くとともに、それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとする。 | | | | |
| 単元の評価規準 | 知識・技能  ・冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わることに気付いている。  思考・判断・表現  ・冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見つけている。  主体的に学習に取り組む態度  ・冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れ自分の生活を楽しくしようとしている。 | | | | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 小単元の目標 | 学習活動 | 重点評価規準 |
| **ふゆと ともだち**  **ふゆを 見つけよう** | ①冬らしい事やもの、遊びを出し合い、これからしたいことについて話す。  ・教科書を見ながら、冬らしい事やもの、したことのある遊び、これからしてみたいことを出し合う。p42-43、p66-67と比べて考えてもよい。  ②冬見つけの散歩をする。  ・活動前に、春や夏、秋の活動で発見できたものなどを確認しておくとよい。  ③発見や気付いたことを伝え合う。  ・教師は、「見つけた『冬』を教えてね。」などと問いかけ、気付いたことを表現できるよう促す。 | 知識・技能  ・植物や生き物、気温、風などの冬らしい自然の様子に気付いている。  思考・判断・表現  ・冬の自然の様子について、五感を通して感じたり、他の季節の様子と比較したりして、伝え合っている。 |
| 4時間／上p88-91  目標  冬を見つける活動の中で、自然の様子を五感で捉えたり、夏や秋の様子と比較したりすることができ、冬らしさに気付くことができるようにする。 |
| **かぜで あそぼう** | ①風を使って遊ぶ。  ・北風など、自然現象を生かした遊びを楽しみ、季節を実感する。  ・教師は、風を感じやすいよう、ビニル袋などを用意したり、教科書に紹介されている、風を使って遊ぶおもちゃを作ったりするとよい。「こんなこともできるね。」と教師がやってみせたり、いっしょに遊んだりする。  ②見つけたことや気付いたことを伝え合う。  ・自然と触れ合いながら夢中になって遊ぶ中で、風などの性質に関する科学的な気付きがあれば、取り上げる。 | 思考・判断・表現  ・自然現象を生かしたり、ルールを考えたりしながら、冬の自然や気候をいかした遊びを工夫して楽しんでいる。  主体的に学習に取り組む態度  ・自然現象を生かした遊びについて、進んで関心をもつとともに、気候や環境に合わせた遊び方を考え、より楽しいものにしようとしている。 |
| 5時間／上p92-93  目標  風で遊ぶ活動の中で、ルールを考えたり自然現象を生かしたりすることができ、気候や環境に合わせて遊び方を検討し、より楽しいものにしようとすることができるようにする。 |
| **ふゆと ともだちに なれたかな** | ①活動を振り返り、したことや、もっとやってみたいことなどを伝え合う。  ・これまでの記録などを見ながら、友達との対話の中で活動を振り返り、本単元でしたことや、もっとやってみたいことなどを書く。  ・教師は、遊んだ記録や撮影していた写真などを用意して、振り返りのための環境作りをしておく。また、「他の季節とは何が違うかな。」などと問いかけ、季節の違いに気付いた児童の発言を取り上げるとよい。 | 主体的に学習に取り組む態度  ・冬らしい自然の様子や冬ならではの遊びの楽しさを実感することで、これからも積極的に自然と触れ合って遊んだり、身近な自然を取り入れ、自分の生活を楽しくしたりしようとしている。 |
| 1時間／上p94  目標  冬らしい自然の様子や冬ならではの遊びの楽しさを実感することで、これからも積極的に自然と触れ合って遊んだり、身近な自然を取り入れ、自分の生活を楽しくしたりしようとすることができるようにする。 |
| **きせつを ふりかえろう** | ①四季の様子を振り返り、これまで季節と関わってきたことや、これからの季節の移り変わりへの期待について伝え合う。  ・教科書p95の写真や、教科書p42-43、66-67、p88-89を参考に、季節による自然の変化や、それぞれの季節の遊びについて思い出す。  ・教師は、「春や夏、秋とは何が違うかな。」などと問いかけ、四季の変化に気付いた児童の発言を取り上げるとよい。これまでの季節の記録を掲示しておくことでも、季節の変化に気付きやすくなる。 | 思考・判断・表現  ・四季の変化、季節によって遊びや生活が変わることなどについて、考えたことを伝え合っている。  主体的に学習に取り組む態度  ・四季の遊びや生活の変化について、これまで考えたり気付いたりしたことを振り返り、これからも季節の変化に目を向け、積極的に自然と触れ合い、自分の生活を楽しくしようとしている。 |
| 配当外／上p95  目標  四季を振り返ることを通して、春夏秋冬それぞれの様子や遊びの違いと共通点を考えることができ、これからも季節の変化に目を向け、積極的に自然と触れ合って遊んだり季節を生かした生活をしたりしようとすることができるようにする。 |
| **ゆきや こおりで あそぼう** | ①雪や氷を使って遊ぶ。  ・雪や氷を生かした遊びを楽しみ、季節を実感する。  ・教師は、「こんなこともできるね。」とやってみせたり、いっしょに遊んだりするとよい。P96-97の遊び方を参考に、各地域で実施可能な遊びを取り入れるとよい。  ②見つけたことや気付いたことを伝え合う。  ・自然と触れ合いながら夢中になって遊ぶ中で、雪や氷の性質に関する科学的な気付きがあれば、取り上げる。 | 思考・判断・表現  ・冬ならではの遊びについて、ルールを考えたり、自然物を利用したりしながら、冬の自然や気候を生かして楽しんでいる。  主体的に学習に取り組む態度  ・冬の自然物を使った遊びについて、自ら進んで関心をもつとともに、気候や環境に合わせて遊び方を工夫し、より楽しいものにしようとしている。 |
| 配当外／上p96-97  目標  雪や氷で遊ぶ活動の中で、ルールを考えたり、自然物を利用したりすることができ、気候や環境に合わせて遊び方を検討し、より楽しいものにしようとすることができるようにする。 |